

5 検討すべき課題

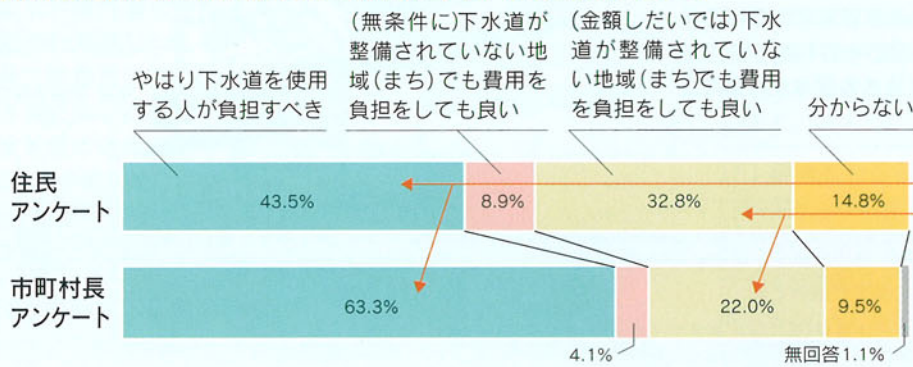
1 だれがいくら負担すべきか、"費用負担のあり方"を考えましょう。



下水道の整備による水環境の保全効果は、下水道を使用する人々だけが受益者ではなく、その水にかかわる全ての人々が受益者であると考えられます。よって今後は、同一市町村内はもとより、「流域」や「海域」という広い視野で『費用負担がいかにあるべきか』を考える時期にきていると考えます。『雨水公費汚水私費』という負担ルールを見直し、汚濁課徴金や排出枠取引あるいは水環境税等の考え方を検討していくことにより、『水環境に対する意識』の改革とともに『ひとり一人の負担額』への理解も深まるのではないのでしょうか。

アンケート・参考資料

■下水道費用負担(あなたのまちが負担する)の考え方について



- 全体的に使用者が費用負担すべきといった考えが主流です。
- 金額しただいでは下水道未整備地域でも負担して良いという人も多くいる事実は無視できません。
- 住民の方が水環境の保全という意識で負担のあり方に関心があるようです。

2 水に対する"ひとり一人のマナー"を見直しましょう。



川や海への汚濁負荷は、人々の利便性や生産性の要求から、なかなか低減させることが困難な状況です。生物全ての母である水を守るためにも、下水道等の整備だけでなく、農業や漁業やあらゆる産業全体での汚濁負荷削減、そしてひとり一人の家庭の排水が川や海へつながっているという意識を持つことが重要です。汚濁負荷削減のため、ひとり一人の行動(マナー)の改善に努めていく必要があります。

3 最も身近な環境学習の場として、"下水処理場を見つめ直し"ましょう。



下水汚泥や処理水は、下水処理場で発生します。この下水汚泥や処理水を再利用する場合には、消費地に近く、また、水量の確保の視点からある程度上流で放流することが効率的です。また、下水処理場が生活の場にあることで、水利用のモラルや水環境に対する意識高揚につながるなど、環境学習の効果も期待されます。しかしながら"処理場は迷惑施設"という風潮もあって河川の下流域や河口部もしくは海岸部に立地されてきたとも言えます。今後は、ひとり一人が水に関する意識を新たに意味でも下水処理場を見つめ直すとともに、位置選定についても十分な議論が必要ではないのでしょうか？

4 協働は、まず、"対話ができる仕組みづくり"から。



地域の目指すべき将来像の実現のため、住民の皆様との協働が重要となります。行政だけで行う情報発信や意見交換には、時間や頻度、費用や労力におのずと限界があります。行政は、住民の皆様と積極的な情報交換を支援していただくサポート役として、地域の環境NPO等の住民団体の方々との交流を深め、対話ができる仕組みづくりを行う必要があります。



5 広域的な対応には、「県・国のリーダーシップが必要」です。



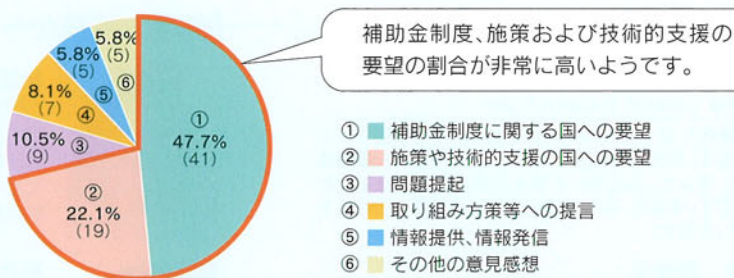
今日、水環境の保全や都市型水害への対応には、単一市町村のみの施策では、地域の求める将来像の実現が困難な場合が多く、複数の市町村が連携した広域的な取り組みが不可欠となっています。

広域的な取り組みを行うにあたり直面する課題として、各市町村が果たすべき責任分担とその財政負担(費用負担)が挙げられます。この課題の解決に当たっては、市町村間の調整役としての県と、法制度や財政負担に関する仕組みづくりを検討していく国の、それぞれの役割におけるリーダーシップの発揮が求められます。

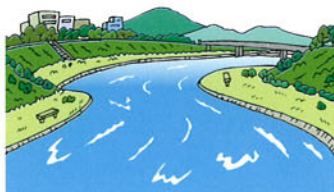
アンケート・参考資料

市町村長アンケートにおける下水道行政(国)に対する要望等についてご紹介します

回答数合計369に対する意見86の内訳
()内数字は回答数



6 「廉価な処理方式の導入」が可能となる支援システムを考えます。

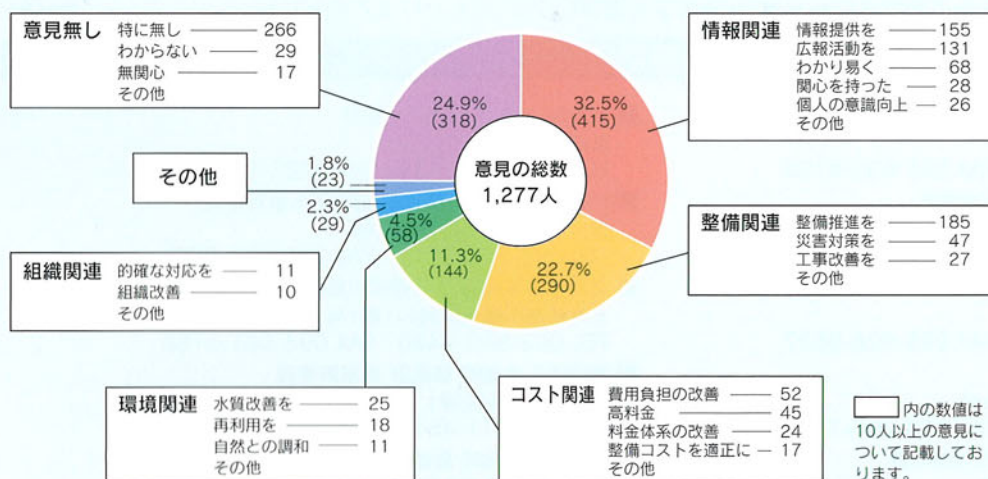


下水道の放流点の水量・水質などから要請される計画放流水質を満足できる処理施設であれば、構造基準等の定めを柔軟に見直し、コストの安い処理方式の導入が可能となるような支援システムを考えていきます。

また、そのような導入に向けた実証実験事業や支援制度などを検討していきます。

アンケート・参考資料

住民アンケートにおける下水道行政に対する要望等についてのご意見をご紹介します



総意として「整備の促進を」「情報の促進を」「広報活動を」の要望が強く、情報提供に際しては「わかり易く」を要望している。また、「費用負担の改善」要望や「高料金」であるとの意見も比較的多いようです。

アンケート回答属性

住民アンケート

[調査の対象]

九州在住の一般生活者

[調査の方法]

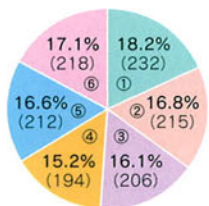
インターネット
専用サイトによる
アンケート調査

[有効回答数]

1,277人 (25.5%)
※5,000人に発信し、
所定の回答があった
時点で打ち切り。

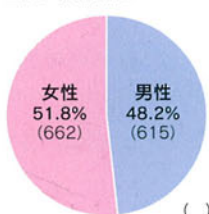
■回答者の地域割合(回答者数)

総サンプル数 1,277人

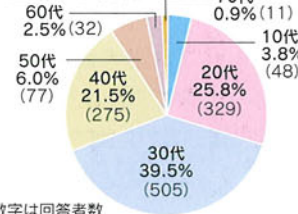


回答者がお住まいの市町村の
行政人口による地域区分
※人口はH14年度末の住民基本
台帳による
① 100万人以上
② 50万人以上100万人未満
③ 30万人以上50万人未満
④ 10万人以上30万人未満
⑤ 5万人以上10万人未満
⑥ 5万人未満

■男女回答者数



■年代別回答者数



()内数字は回答者数

市町村長アンケート

九州の市町村数512
[H15年4月1日現在]

[調査の対象]

市町村長本人

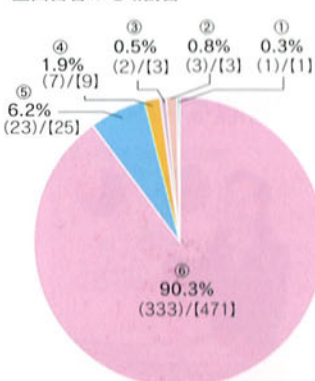
[調査の方法]

調査票による記入式

[有効回答数]

369人 (72.1%)
/全体 512人

■回答者の地域割合



※円グラフの色による区
分は住民アンケートの
区分と同じです

()内数字は回答者数
【】内数字は地域別の全市町村数

九州の下水道等の整備を考える懇談会

(平成15年
8月29日設立)

「委員の皆様からのメッセージ」

(委員長以外50音順)



楠田 哲也 (委員長)

九州大学 工学研究院 環境都市部門 教授

知恵を出し合って九州の状況を反映した夢を描けたと思います。事務局も頑張ってくれましたので、一層輝きが増しました。次は描いた夢を如何に実現させるかが課題です。今後も、みんなで力を合わせて進んで行こうと心しています。



小林 華弥子

由布院温泉観光協会・ランドデザイン委員会 委員

九州の美しい自然環境と豊かな水資源は、日本の宝です。全国に誇るべきこの豊かで美しい水環境を大切に守り、育ててゆくことが美しい日本を守る、そんな一人一人の意識を大切にしていきたいと改めて思いました。



富工 妙子

ながさきホテルの会 事務局長

未来に向けての行政の施策は、今までと違い地域住民参加での取り組みがなされ、そこでの考え、声が如何に重要な役割をもっているかを知りました。これからも積極的に参加していきたいと思っています。



平田 登基男

鹿児島工業高等専門学校 土木工学科 教授

豊かな自然と生き物は、私達の宝物。それを守り、育むため、官民協働で、クリーンな水の循環システムを取り戻そう。宝物と共生できる、安心・安全・快適な生活環境を、子供らに引き継ごう。それが今を生きる私達の努めと思う。



飯盛 和代

佐賀短期大学 暮らし環境学科 教授

下水道は水循環を大きく支配するともいわれています。大役を引き受けその重責が終わろうとする今、安堵しております。今後の課題も多く、皆が身近な問題として取り組みたいものです。



杉尾 哲

宮崎大学 工学部 教授

私たちの暮らしは、水の恩恵に支えられています。しかし今、その水が私たちの暮らしによって汚されています。貴重な水の恩恵を守るために水を汚さない暮らしに変えましょう。



原 育美

環境ネットワークくまもと 事務局長

子どもの頃、実家の前を流れる川底は澄み、魚影がキラキラと輝いていた。川面を埋める花いかにで毎年桜の季節の終わりを知り、川干して隠れ場所を見失った巨大鯉を追い回した。初夏には蛸を蚊帳の中に放ち、夏休みは1日中流れと戯れ、暮れには岸で障子を洗う親の手伝いをした。こんな感動に満ちた水と親しむ暮らしが再び未来の子どもたちにも訪れて欲しい。



森山 克美

九州共立大学 工学部 土木工学科 教授

健全な水環境を次世代へ渡すことは私達の使命です。住民と行政が地元の水について語り合い、地域に根ざした水環境の保全・再生に有効な施策・運動が展開されるよう期待します。

8名の皆様からご提言をいただき「九州の下水道等ビジョン」をとりまとめました。

(敬称略)

関係機関窓口

■福岡県 建築都市部 下水道課

福岡市博多区東公園7-7
TEL 092-651-1111 FAX 092-632-6103

■佐賀県 県土づくり本部 下水道課

佐賀市城内1-1-59
TEL 0952-24-2111 FAX 0952-25-7537

■長崎県 土木部 都市計画課

長崎市江戸町2-13
TEL 095-824-1111 FAX 095-826-9527

■熊本県 土木部 下水道課

熊本市水前寺6丁目18番1号
TEL 096-383-1111 FAX 096-385-7398

■大分県 土木建築部 公園・生活排水課

大分市大手町3丁目1番1号
TEL 097-536-1111 FAX 097-537-0929

■宮崎県 土木部 公園下水道課

宮崎市橋通東2丁目10-1
TEL 0985-24-1111 FAX 0985-32-4456

■鹿児島県 土木部 都市計画課 下水道対策室

鹿児島市鴨池新町10番1号
TEL 099-286-2111 FAX 099-286-5633

■北九州市建設局 下水道河川部 計画課

北九州市小倉北区内1番1号
TEL 093-582-2480 FAX 093-561-5758

■福岡市下水道局 建設部 事業調整課

福岡市中央区天神1丁目8-1
TEL 092-711-4519 FAX 092-711-1875

■九州地方整備局 建設部 都市・住宅整備課

福岡市博多区博多駅東2-10-7
TEL 092-471-6331 FAX 092-471-6397